

今週の日曜版は合併号!!
来年1月7日は休みます。

学校給食をオーガニックにしよう

12月議会
一般質問

棕野市長「市教委と協力して進めたい」

日隈知重市議は12月6日、「学校給食にオーガニック（有機食材）を使ったらどうか」と提案。市長は「市教委と協力して、その方向に進めたい」と答えました。

「全国の小中学校でオーガニック給食を広めよう」という動きが進んでいます。農水省のオーガニックビレッジ事業に自治体「学校給食にオーガニックを使ったらどうか」と提案する日隈市議



学校給食を無償・オーガニックへと訴える山田正彦・元農林水産大臣（2023年10月31日、長崎市）

自認証の野菜を学校給食に使っている」と答えました。
日隈市議は今年10月、長崎市で開かれた全国地方議員交流研修会に参加。ここで「学校給食を無償・オーガニックへ」と訴える山田正彦・元農林水産大臣の話しを聞きました。その中で紹介されていた千葉県いすみ市の取り組みを棕野市長に説明。感想を求めました。
市長は「オーガニック給食にするには、農家の手間、価格、安定供給などの問題がある。どのように解決したのか、ぜひ勉強させていただきたい。教育委員会と連携、協力しながら、その方向（オーガニック給食）に進めたい」と答えました。

市は来年度からやめよ

18歳の名簿
自衛隊へ提供

市長「望まない方へ除外申請の手続きを進める」

日隈知重市議は12月6日、「奈良市の高校生が自衛隊への個人情報提供をめぐる、市長を訴える準備をしている」と指摘。「日田市は、来年度から18歳の名簿提供やめよ」と迫りました。

日田市は、2021年から自衛官募集のために、市内の18歳の個人情報をもとにして自衛隊に渡しています。

市は「自衛隊法などを法的根拠に名簿を渡している」と説明します。

しかし、今年11月16日の参議院外交防衛委員会において、木原稔・防衛大臣は「防衛省としては、これ（名簿提供）を強制するものではなく、自治体に対して丁寧な依頼している」と、日本共産党の山添拓参院議員に答えています。日隈市議は、これを指摘し、「法的根拠はない。来年度から名簿提供やめよ」と迫りました。

市長は「自衛隊は、地域での被災地支援などの重要な任務を

担っていたいただいている。本市も大変お世話になっている。名簿提供は、引き続き協力したい」と答えました。日隈市議が、奈良市の高校生が「本人同意のない個人情報の外部提供は違法だ」と訴えていることを指摘。市長は「今後、動向を注視していきたい」としか答えられませんでした。

ただし、市長が望まない方へ除外申請の手続きを進めると答えたことは、一歩前進と言えます。

市が、勝手に市民の個人情報渡さないよう監視しましょう。



▲自衛官募集のポスターが貼られている自衛隊大分地方協力本部日田地域事務所前



世界に平和が訪れますように